

各位

会社名 日本特殊塗料株式会社
 代表者名 代表取締役社長 田谷 純
 (コード番号4619 東証第1部)
 問合せ先 執行役員業務本部 力武 洋介
 財務部長兼総務部長 (TEL 03-3913-6134)

2021年3月期業績予想及び配当予想、並びに中期経営計画の業績目標修正に関するお知らせ

当社は、2020年5月13日に公表いたしました「2020年3月期決算短信」において未定としておりましたが2021年3月期(2020年4月1日～2021年3月31日)の業績予想及び配当予想につきまして下記のとおり決定いたしましたので、お知らせいたします。

また、2021年3月期は、2018年7月11日に公表いたしました中期経営計画の最終年度でありますので、当該最終年度(2021年3月期)の業績目標を下記のとおり修正いたしますので、あわせてお知らせいたします。

記

1. 業績予想

(1) 2021年3月期第2四半期(累計)連結業績予想数値(2020年4月1日～2020年9月30日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属する四半期純利益	1株当たり四半期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想 (A)	—	—	—	—	—
今回修正予想 (B)	19,800	△1,250	△1,000	△900	△40.89
増減額 (B-A)	—	—	—	—	—
増減率 (%)	—	—	—	—	—
(ご参考) 前期第2四半期実績 (2020年3月期第2四半期)	28,785	1,323	2,049	1,330	60.46

(2) 2021年3月期通期連結業績予想数値(2020年4月1日～2021年3月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属する当期純利益	1株当たり当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想 (A)	—	—	—	—	—
今回修正予想 (B)	48,300	200	1,100	150	6.82
増減額 (B-A)	—	—	—	—	—
増減率 (%)	—	—	—	—	—
(ご参考) 前期実績 (2020年3月期)	57,191	2,827	4,303	2,318	105.34

(3) 業績予想の理由

2021年3月期の連結業績予想につきましては、新型コロナウイルス感染症拡大による影響を適正かつ合理的に算定することが困難であることから未定としておりましたが、現時点で入手可能な情報に基づき業績予想を算定いたしました。

第2四半期連結累計期間におきましては、経済活動停滞により国内外の景気は急速に悪化しており需要の低迷が予想されることに加え、第1四半期に中国子会社で一時的な工場稼働停止を行ったこと等による売上高の減少が、業績に大きく影響すると見込んでおります。

中国子会社は、第1四半期後半から工場稼働を再開し、一定の業績回復が見込まれますが、国内外の需要本格回復には更に時間を要することが想定され、2021年3月期通期におきましても、上記のとおり業績は前期を大幅に下回る見込みです。

当社グループは、引き続き徹底した感染症拡大防止策を講じながら、効率的な営業活動による売上規模の確保・拡大、積極的かつ継続的な原価低減活動・経費低減策による利益率向上に努めてまいります。

(ご参考) 2021年3月期通期連結 セグメント別業績予想数値

	売上高	セグメント利益
	百万円	百万円
塗料関連事業	16,500	300
自動車製品関連事業	31,800	△100

2. 配当予想

(1) 2021年3月期配当予想

	年間配当金		
	第2四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭
前回発表予想	—	—	—
今回発表予想	17.00	21.00	38.00
前期実績 (2020年3月期)	19.00	21.00	40.00

(注) 2020年3月期第2四半期末配当金の内訳 普通配当17円00銭 記念配当2円00銭

(2) 配当予想の理由

当社は、収益体質の強化及びキャッシュ・フローを重視した健全な財務内容の維持により、株主の皆様への利益還元の充実を図ることを経営上の重要課題と位置付けております。

一方、当社グループの事業を取り巻く経営環境は大きな変革期にあり、当社が将来にわたり競争力を確保し、収益の向上を図るためには、新製品や新技術等への研究開発投資・設備投資、グローバルで技術力・生産力を高める海外事業への投資、さらにはその礎となる人材への投資等を行っていく必要があります。

したがって、利益配分につきましては、中長期的な経営計画に基づき、安定配当の維持とこのような戦略的な投資に向けた内部資金の充実を中心に据えながら、財政状態、利益水準及び配当性向等を総合的に勘案して決定することを基本方針としております。

2021年3月期の配当につきましては、上記の業績予想及び利益配分の基本方針を踏まえ、総合的に勘案した結果、前期の記念配当を除き、普通配当としては実質的に同額の1株当たり年間38円(第2四半期末(中間)配当金17円、期末配当金21円)の配当金を見込んでおります。

3. 中期経営計画の業績目標修正

(1) 最終年度(2021年3月期)の業績目標

	2021年3月期 当初目標	2021年3月期 修正目標	増減額
	百万円	百万円	百万円
売上高	65,000	48,300	△16,700
経常利益	7,200	1,100	△6,100

(2) 修正の理由

最終年度(2021年3月期)の業績目標の修正理由は、上記1.(3)に記載のとおりです。

なお、中期経営計画に掲げた業績目標以外の経営の基本戦略につきましては、原則として変更ありません。

(注) 上記の業績予想及び配当予想、並びに中期経営計画の業績目標につきましては、現時点で入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績等は、今後の新型コロナウイルス感染症の動向等様々な要因により、これらの予想とは異なる可能性があります。

以上